

令和8年度着手

県 営 ^み三 ^つ川 ^{がわ}池 ^{いけ}地区土地改良事業計画書

(老 朽 た め 池 等 整 備 事 業)

愛 知 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土 地 分 類	3
3.	土地利用の状況	3
4.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	6
3.	河 川 状 況	6
第 4 節	道 路 概 況	6
第 5 節	地域農業の概況	7
1.	産業別就業人口	7
2.	経営耕地広狭別農業経営体数	7
3.	主要家畜頭数	7
4.	主要作物作付状況	8
5.	農業の動向	9
第 6 節	地域環境の概況	10

次

第 4 章	一 般 計 画	11
第 1 節	事業計画の要旨	11
1.	要 旨	11
2.	事業別面積	11
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	11
第 3 節	用 水 計 画	12
1.	計画基準年	12
2.	計画かんがい方式	12
3.	計画用水系統	12
4.	計画用水量	12
5.	水 源 計 画	12
第 4 節	排 水 計 画	12
第 5 節	道 路 計 画	12
第 6 節	農用地造成計画	12
第 7 節	洪水調整計画	13
第 8 節	干 拓 計 画	13
第 9 節	農用地整備計画	13
第 10 節	老朽ため池改修計画	13
1.	洪水吐改修計画	13
2.	堤体補強計画	13
3.	取水施設改修計画	13
第 5 章	主 要 工 事 計 画	14
第 1 節	用 水 施 設	14
第 2 節	排 水 施 設	14
第 3 節	道路及び索道	14
第 4 節	農 用 地 造 成	14
第 5 節	洪水調整施設	14
第 6 節	干 拓 施 設	14
第 7 節	農用地整備施設	14

第 8 節	老朽ため池改修施設	15
1.	貯 水 池	15
2.	堤体補強施設	15
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	16
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	16
第 8 章	環境との調和への配慮	16
第 9 章	管理の要領	16
第 10 章	換地計画の概要	16
第 11 章	事業費の総額及び内訳	17
第 12 章	効 用	17
第 13 章	関 連 す る 事 業	18
第 14 章	計 画 一 般 図	18

第1章 目 的

三ツ川池は新城市中宇利地内に位置し、地域農業の貴重な用水源として重要な役割を担っているが、堤体裏法の漏水、堤体の断面不足並びに洪水吐の排水能力不足及び、緊急放流能力を有していないことにより、農作物・農業施設および公共施設に多大な被害を及ぼすおそれがある。

従って、堤体、洪水吐、取水施設の改修及び緊急放流施設の新設を行うことで、ため池決壊による洪水被害を防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び民生の安定を図ることを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地域 (第1表)

事業名	地 域	備 考
老朽ため池等整備事業	新城市	—

第2節 地積 令和 6 年 7 月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	普通畑	樹園地	小計	山林	原野	池沼	道水路・宅地	非農用地	計	備 考
	市町村名	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
老朽ため池等整備事業	新城市	2.5	—	—	2.5	—	—	—	—	—	2.5	新城市 農業基本図より
計		2.5	—	—	2.5	—	—	—	—	—	2.5	—

第3章 現 況

第1節 気象 1 一般気象

(第3表－1)

観測所名	新城	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	平成15年～令和2年	4月～9月	10月～3月		
平均気温		21.5℃	9.3℃	15.4℃	
降水量	平均	1,383mm	703mm	2,086mm	
	基準年	—	—	—	
降水日数	平均	66日	46日	112日	
	基準年	—	—	—	
根雪期間		—月—日～—月—日(—日間)			
無霜期間		3月22日～11月29日(253日間)			名古屋地方気象台
最多風向		東	最大風速(風向き)(m/s)	18.0(東)	平成21年10月8日

2 特殊気象

(第3表－2)

観 測 所 名		第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
新城																	
観 測 期 間		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	
平成14 年～ 令和6 年																	
最 大 日 雨 量	(mm)	419.5	R5.6.2	1/406	237.5	R6.8.27	1/10	224.0	H23.9.21	1/7	204.5	R3.7.2	1/5	169.5	R3.8.18	1/3	
最 大 時 間 雨 量	(mm)	79.5	R3.6.17	1/39	69.0	R5.6.2	1/15	66.5	R4.7.9	1/12	63.0	R6.8.31	1/9	57.0	H25.9.16	1/6	
最 大 4 時 間 雨 量	(mm)	155.0	R5.6.2 18:00～	1/33	134.0	H23.9.21 11:00～	1/12	127.5	R4.7.9 17:00～	1/9	119.0	H15.7.3 21:00～	1/6	119.0	H24.6.19 17:00～	1/6	
最 大 連 続 雨 量	(mm)	734.0	R6.8.22 ～ R6.9.3	1/46	537.5	R3.8.12 ～ R3.8.23	1/17	463.5	R5.5.29 ～ R5.6.3	1/11	440.0	R2.7.3 ～ R2.7.11	1/9	388.5	R3.6.29 ～ R3.7.9	1/6	
最大連続干天日数	(日)	31	H21.8.12 ～ H21.9.11	1/49	28	R6.7.18 ～ R6.8.14	1/20	23	H15.12.21 ～ H16.1.12	1/5	23	H27.12.25 ～ H28.1.16	1/5	23	H30.12.23 ～ H31.1.14	1/5	第5位と同じ連続干天日数 R2.11.23～R2.12.15

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

令和 7 年 11 月現在 (第4表-1-1)

事業名	地 目	田 (ha)						畑・その他 (ha)						受益地標高(m)		備考
	傾 斜 区 分	1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8°	15°	計	最高	最低		
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	15°	20°				以上	
老朽ため池等整備事業	面積 (ha)	-	-	2.5	-	-	2.5	-	-	-	-	-	-	84.00	71.50	-
	比率 (%)	-	-	100	-	-	100	-	-	-	-	-	-			
合 計	面積 (ha)	-	-	2.5	-	-	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	比率 (%)	-	-	100	-	-	100	-	-	-	-	-	-			

土壌

令和 6 年 7 月現在 (第4表-1-2)

項 目 土壌統(区)名	土 壤 統 一 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備考		
	土 壤 断 面							堆積様式	母材	事 業 名					
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性					泥炭層黒泥 層及び グライ層	老朽ため 池等整備 事業	-		-	計
					表 土 一 層	下 層 土 二 層	三 層								
富岡統 Tm-2 (灰褐色土壌粘土質 構造満俺型)	灰褐色	表層腐植 層 なし	60cm以下 より礫層	糸根状、 点状有～ 含む	強粘質	粘～ 強粘質	-	なし	洪積	非固結 水成岩	2.5	-	-	2.5	田
幸田統 K-3	黄褐色	表層腐植 層なし	あり	なし	粘質	粘～ 強粘質	-	なし	残積	変成岩	-	-	-	-	畑
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	2.5	

2. 土地分類
該当なし

3. 土地利用の状況

令和 6 年 7 月現在 (第4表-2)

事業名	土地 利用別 市町村別							原野	山 林	採草放牧地	そ の 他	計	備考
		水 田	普 通 畑	牧 草 地	果 樹 園	茶 園	そ の 他 樹 園 地						
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
老朽ため池等整備事業	新城市	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	
合 計		2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	

4. 土地所有の状況

(第4表-3)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地・その他	計	備考
老朽ため池 等整備事業	面積 (ha)	2.5	-	-		2.5	-
	受益者数 (人)	13	-	-	-	13	-
	筆数 (筆)	-	-	-	-	-	-
	権利関係	所有権	-	-	-	-	-
	備考 (関係戸数)	13	-	-		13	-
合 計	面積 (ha)	2.5	-	-		2.5	-
	受益者数 (人)	13	-	-	-	13	-
	筆数 (筆)	-	-	-	-	-	-
	権利関係	所有権	-	-	-	-	-
	備考 (関係戸数)	13	-	-		13	-

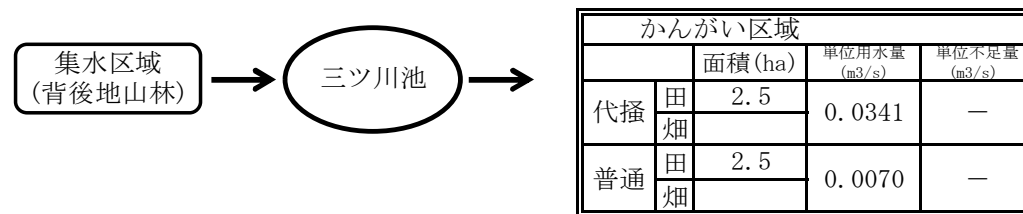
第3節 水利状況

1. 用水状況

三ツ川池の貯水は、背後地山林からの流入によるものであり、農業用水路（開水路）を通じてかんがいされている。

(1) 用水系統

現況用水系統図



凡	例		
	かんがい区域	2.5	ha
	集水区域	30.2	ha
	池貯水量	5,000	m3

(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		許 可 水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量		備 考
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満										
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m3/s)	(箇所)	(m3/s)	(箇所)	(m3/s)	
老朽ため池等整備事業	貯 水 池	-	-	-	-	1	2.5	1	2.5	-	-	-	-	-	-	
	井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自 然 取 入 口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	1	2.5	1	2.5	-	-	-	-	-	-	
合 計		-	-	-	-	1	2.5	1	2.5	-	-	-	-	-	-	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目 施設名	施 設 名 又 箇 所 数 (箇所)	受 益 面 積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又 更 新 年	改修を必要とする理由	備 考
老朽ため池等整備事業	貯水池	1	2.5	堤体均一型	堤高 4.95m 堤長 20.0m	築造年不明	老朽化 堤体断面不足	
		-	-	洪水吐	水路流入型	築造年不明	能力不足	
		-	-	取水施設	ため池栓等	築造年不明	緊急放流施設無 底樋断面不足	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
	計	1	2.5	-	-	-	-	
合 計		1	2.5	-	-	-	-	

- (3) 用水に関する被害状況
 (ア) 用水不足による被害状況

該当なし

- (イ) その他の被害状況

該当なし

- (4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
老朽ため池等整備事業	2.5	—	—	2.5	3,135	90,636	54,403	201,221	—	349,395	—
合 計	2.5	—	—	2.5	3,135	90,636	54,403	201,221	—	349,395	—

2. 排水状況

該当なし

3. 河川状況

該当なし

第4節 道路概況

三ツ川池の南部に県道81号線が東西に奔り、西部の南北方向に奔る国道301号と結んだ交通網である。
 この基幹道路を中心に、受益地内に整備された市道・農道が、農産物の輸送道路及び日常の生活道路として兼用されている。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第6表-1)

項 目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売業 小売業 飲食店 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービ ス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
新城市	23,395	1,745	112	12	28	1,716	6,770	64	887	2,553	260	187	7,628	791	642	
合計	23,395	1,745	112	12	28	1,716	6,770	64	887	2,553	260	187	7,628	791	642	
比 率 (%)	100.0	7.5	0.5	0.1	0.1	7.3	28.9	0.3	3.8	10.9	1.1	0.8	32.6	3.4	2.7	

(出典:令和2年国勢調査)

2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(第6表-2)

区分 市町村名	農業経営 体数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数 (経営体)										1経営体当り平均 農用地面積(ha)						備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	
新城市	1,261	47	340	554	169	57	32	27	23	9	3	0.85	0.24	0.43	1.52	2.00	3.52	—
合計	1,261	47	340	554	169	57	32	27	23	9	3	0.85	0.24	0.43	1.52	2.00	3.52	—
比率 (%)	99.8	3.7	27.0	43.9	13.4	4.5	2.5	2.1	1.8	0.7	0.2	24.1	6.8	12.2	43.1	56.8	99.9	端数処理により比率合計値が100% とならない。

(出典:2020年農林業センサス)

3. 主要家畜頭数

(第6表-3)

主要家畜									備考
項 目 市町村名	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (百羽)	経営体数 (経営体)	
新城市	576	8	2,164	35	—	—	6,304	7	—
合計	576	8	2,164	35	—	—	6,304	7	—
100経営体当り数量 (頭、羽)	7,200頭		6,183頭		—		90,057羽		—
飼養経営体数割合(%)	16%		70%		—		14%		総経営体数 ⁵⁰ 経営体

(出典:2020年農林業センサス)

4. 主要作物作付状況

(第6表－4)

市 町 村 名	新城市	作 付 率 (%)	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)	1,344		
区 分 作 物 名	作付面積 (ha)		
水稲	673	97.6	<出典> 2020年農林業センサス 作付面積は、経営耕地面積のうち販売目的作付け(栽培)した作物の類別作付(栽培)面積である。 「X」は、秘密保護上統計数値を公表しないもの。
麦類	1	0.1	
雑穀類	2	0.3	
いも類	4	0.6	
豆類	1	0.1	
工芸作物	X	X	
野菜類	X	X	
果樹類	X	X	
花き類、花木	9	1.3	
その他の作物	X	X	
計	690	100.0	

5. 農業の動向

(第6表－5)

項目 区分	農業経営体			土 地			主要作物			主 要 家 畜			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農振整備計画 昭和45年4月 (新城市)	A：令和2年 (2020年) B：平成27年 (2015年) C：平成22年 (2010年) X：統計数値が公表 されていないために 指数を求められない もの －：事実のないもの
変化の状況 C年を100 とする指数	農業経営体数	85	69	耕地	94	80	水稻	105	105	乳用牛	102	66		
	個人経営体数	85	69	田	97	85	麦類	X	20	肉用牛	X	110		
	団体経営体数 (法人)	131	94	畑	91	67	野菜類	X	X	豚	59	－		
	団体経営体数 (非法人)	57	29	樹園地	83	77	花き類	X	28	採卵鶏	213	109		
変 化 の 理 由	農業経営体数は減少傾向にある。それに伴い、個人経営体数も減少している。 一方、農地集積が進み、団体経営体数が増加した。			農業経営体数の減少に伴い、耕地面積は全体的に減少傾向にある。			水稻は主要作物であるため、経営体規模拡大に伴い増加傾向にある。麦類及び花き類については、農業経営体の減少、農地の減少等により減少傾向である。			畜産経営をとりまく社会的状況が厳しさを増していることから、飼養頭数は減少傾向にある。 一方、経営体規模の拡大が進み、採卵鶏の飼育数は増加した。				

(出典：2010年世界農林業センサス、2015年農林業センサス、2020年農林業センサス)

第6節 地域環境の概況

新城市は愛知県の東部、東三河地域の中央部に位置し、東を静岡県浜松市、西を岡崎市と豊川市、南を豊橋市、北を豊田市、北設楽郡設楽町及び東栄町に接している。北部は三河山間部を形成する豊かな緑に覆われるとともに、宇連ダム・大島ダムを抱え、東三河一帯の水源涵養の役割を果たしている。

市域の約9割が農地・森林であり、豊川・矢作川水系の本流とその小河川とで水と緑のネットワークが形成されており、野生生物は多様であるが全体的に生息空間は減少傾向のため、住民への理解推進や山・農・水空間の保全、森林整備が求められている。

また、不法投棄、害虫等の発生、大気汚染（野焼き）の割合が高くなっていることから未然防止が求められているほか、生活排水対策として公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽などの普及を進め水質保全を図っていく必要がある。

農地の現状としては、昭和30年代に農業構造改善事業等で整備してきたが高齢化の進行・水利施設の老朽化等が進んでおり、山間地ではさらに鳥獣被害により生産意欲が低下している状況であるため、担い手農家への農地流動化が図られるよう農業生産基盤の整備や農林業公社しんしろを核とした山間地農業での担い手の確保が求められている。

1. 特に配慮すべき生物環境(植物、植生、動物)

両生類：トノサマガエル

2. 特に配慮すべき生物以外のもの（景観・文化財他）

景観：天竜奥三河・愛知高原国定公園、本宮山・桜淵県立自然公園

文化財：長篠城址、鳳来山東照宮

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

堤体裏法の漏水、堤体の断面不足並びに洪水吐の排水能力不足及び、緊急放流能力を有していないことにより、農作物・農業施設および公共施設に多大な被害を及ぼすおそれがある。

従って、堤体、洪水吐、取水施設の改修及び緊急放流施設の新設を行うことで、ため池決壊による洪水被害を防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び民生の安定を図ることを目的とする。

2. 事業別面積

(第7表)

事業名 土地 利用 区 分 事業 目的	老朽ため池等整備事業					そ の 他					合計
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園	小計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
ため池改修	2.5	-	-	-	2.5	-	-	-	-	-	2.5
計	2.5	-	-	-	2.5	-	-	-	-	-	2.5

第2節 営農計画及び土地利用計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画
該当なし

第8節 干拓計画
該当なし

第9節 農用地整備計画
該当なし

- 第10節 老朽ため池改修計画
1. 洪水吐改修計画
側水路型 越流幅B=9.2m L=31.9m
 2. 堤体補強計画
漏水対策工および嵩上げ工
傾斜遮水ゾーン型 L=20.0(m)
 3. 取水施設改修計画
緊急放流兼用 $\phi 100 \times 2$ 連
底樋 $\phi 800$

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設
該当なし

第2節 排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道
該当なし

第4節 農用地造成
該当なし

第5節 洪水調整施設
該当なし

第6節 干拓施設
該当なし

第7節 農用地整備施設
該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第15表)

名 称	三ツ川池			位 置	愛知県新城市中宇利三ツ川40				
堤 体	型 式	流 域 (km2)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m3)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (m3)	備 考	
	傾斜遮水ゾーン型	0.302	6.1	20.0	—	3.0	5,000	改修	
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m3/s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式		取 水 量 (m3/s)	備 考
	側水路型	9.58 (洪水吐能力)	越流幅＝9.2m 越流水深＝0.6m	改修		斜樋 φ100×2孔 底樋 φ800 L＝19.2m		0.0341	改修 緊急放流施設 兼用

2. 堤体補強施設

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| (1) 漏水対策工及び嵩上げ工 | 傾斜遮水ゾーン型 L=20.0(m)
嵩上げ高 h=1.08(m) |
| (2) 法面保護工 | 上流側法面：張ブロック、芝付工
下流側法面：芝付工 |
| (3) ドレーン工 | 腰積み擁壁 |

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期
着手 令和 8 年度 完了予定 令和 11 年度（予定）

2. 工事の年度割予定

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
測量・調査・設計等				
堤体工				
洪水吐				
取水施設工				

第8章 環境との調和への配慮

- (1) 配慮の対象

本地区は新城市田園環境整備マスタープランにおいて、環境配慮区域とされている。ため池及びため池周辺には生物調査の結果、トノサマガエル等の生息が確認されており、良好な生物生息空間が確保されているため、生息環境の保全に配慮していくものとする。

- (2) 配慮の方法

工事中は、土砂及び濁水の流出防止を図る。

また、工事にあたり保護が必要な生物が確認された場合は、近隣のため池等に移動することに努める。

第9章 管理の要領

県営老朽ため池等整備事業三ツ川池地区により造成された土地改良施設は、新城市が管理する。

第10章 換地計画の概要

該当なし

第11章 事業費の総額及び内訳

(第16表)

事業名		老朽ため池等整備事業	備 考
区 分		(千円)	
事業費 ※1		191,000	—
事務的経費 ※2		11,700	—
計		202,700	—
関連 事業 (参考)	—	—	—
	—	—	—

(令和7年度単価。消費税については10%で算定。ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1…事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2…事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第12章 効 用

(第17表)

事業名	項 目		農業用排水(用水)		備 考
			年 総 効 果 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	
老朽ため 池等整備 事業	維持管理費節減効果		△ 84	—	
	災害防止効果	農業関係資産	6,446	6,446	
		一般資産	—	—	
		公共資産	8,753	—	
	計		15,115	6,446	総便益額 255,428 千円

<参考>

① 当該事業費	:	166,794 千円
② その他費用	:	△ 3,565 千円
③ 総費用(現在価値化)	:	163,229 千円
④ 年償還額	:	— 千円
④' うち機能向上分	:	— 千円
⑤ 年総効果(便益)額	:	15,115 千円
⑥ 現況年総農業所得額	:	905 千円
⑦ 年総増加農業所得額	:	6,446 千円
評価期間	:	44 年
割引率	:	0.04
⑧ 総便益額(現在価値化)	:	255,428 千円
総費用総便益比 (⑧÷③)	:	1.56 ≥ 1.0
総所得償還率 (④÷⑥)	:	— % ≤ 20 %
増加所得償還率 (④' ÷⑦)	:	— % ≤ 40 %

第13章 関連する事業

該当なし

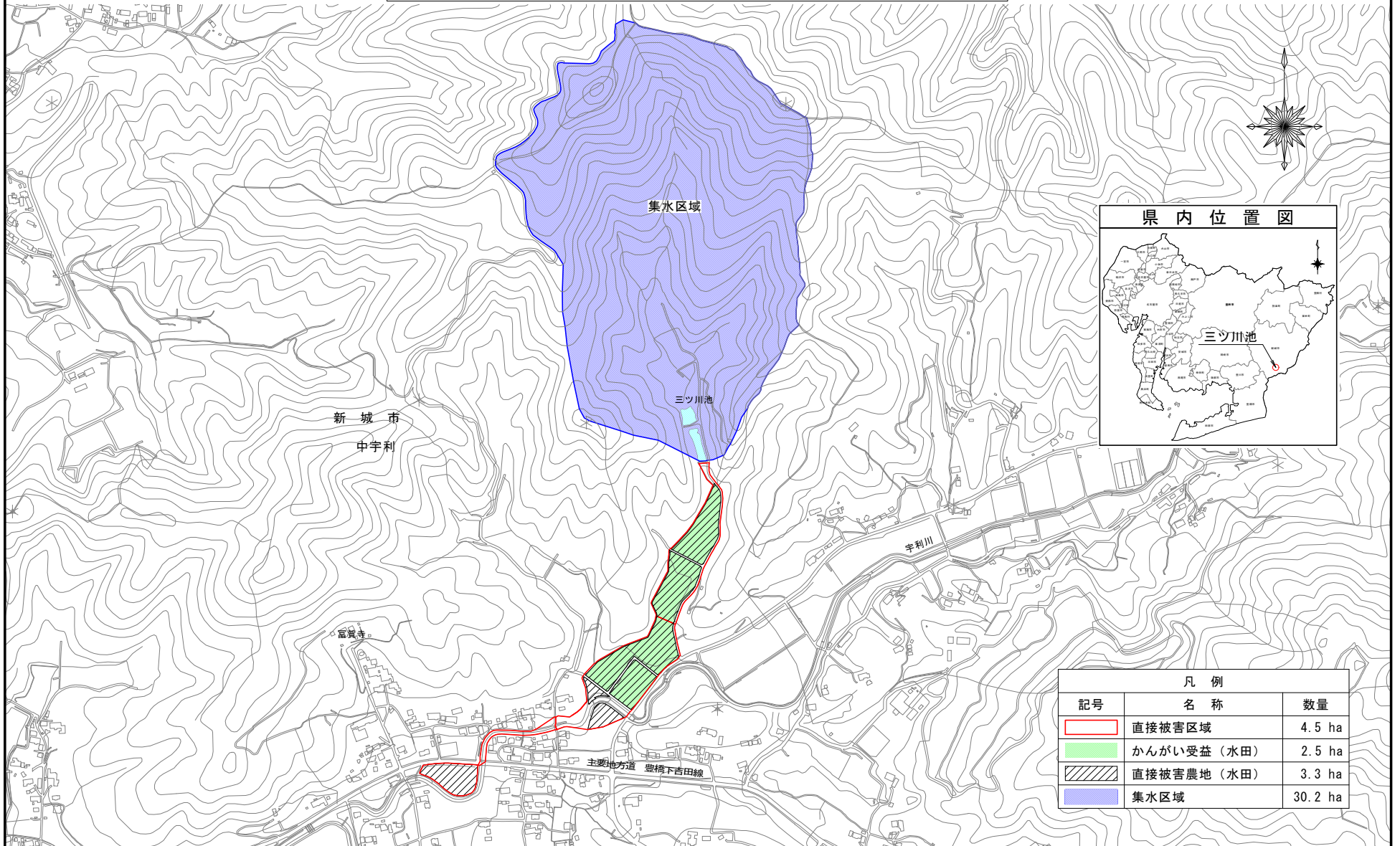
第14章 計画一般図

- 1 位置図
- 2 計画平面・断面図
- 3 主要構造図

位置図

老朽ため池等整備事業 ミツ川池地区

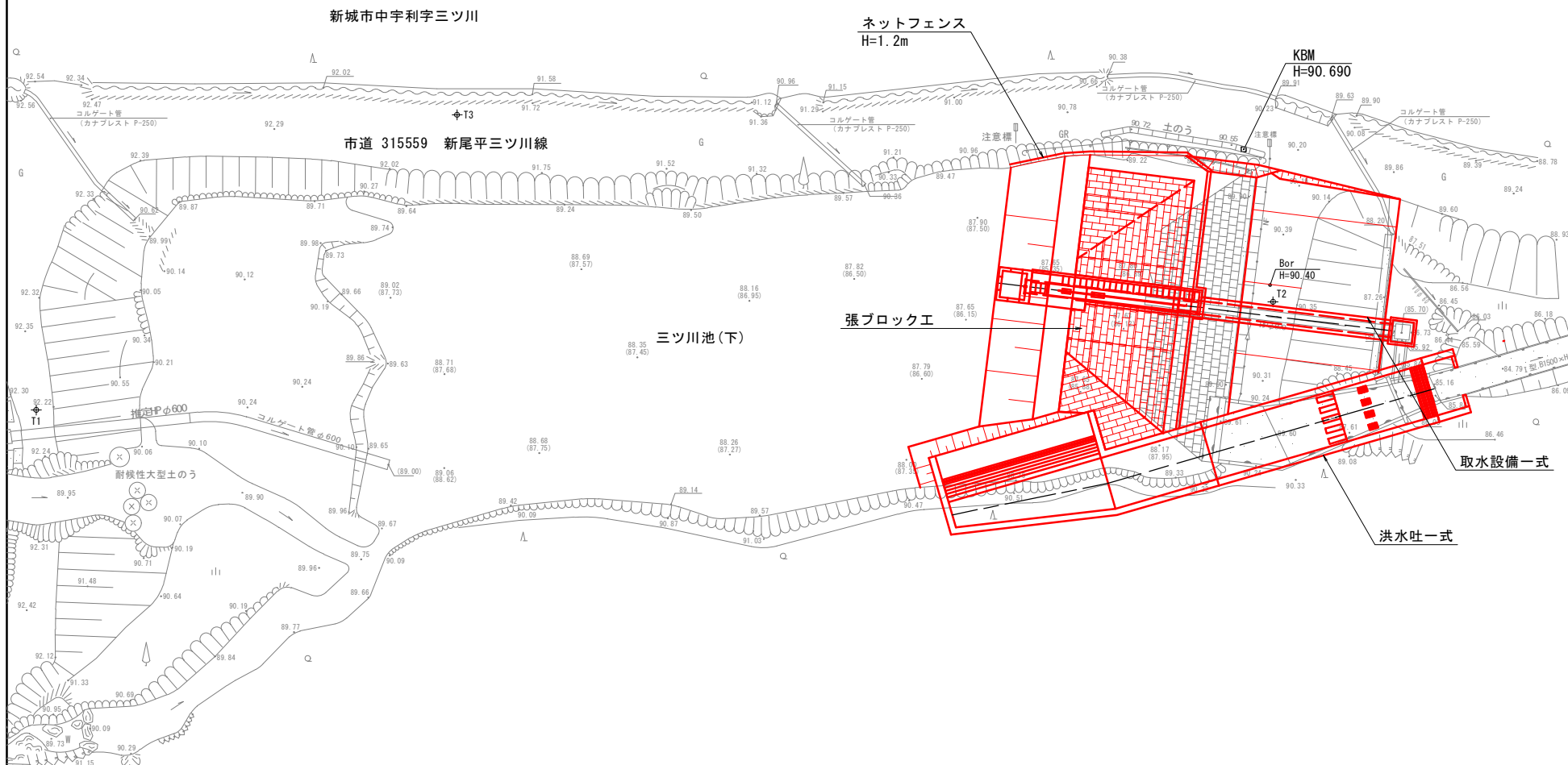
所在地：愛知県新城市中宇利字ミツ川40 縮尺1/10,000



地区名	三ツ川池
-----	------

計 画 平 面 図

計画平面図

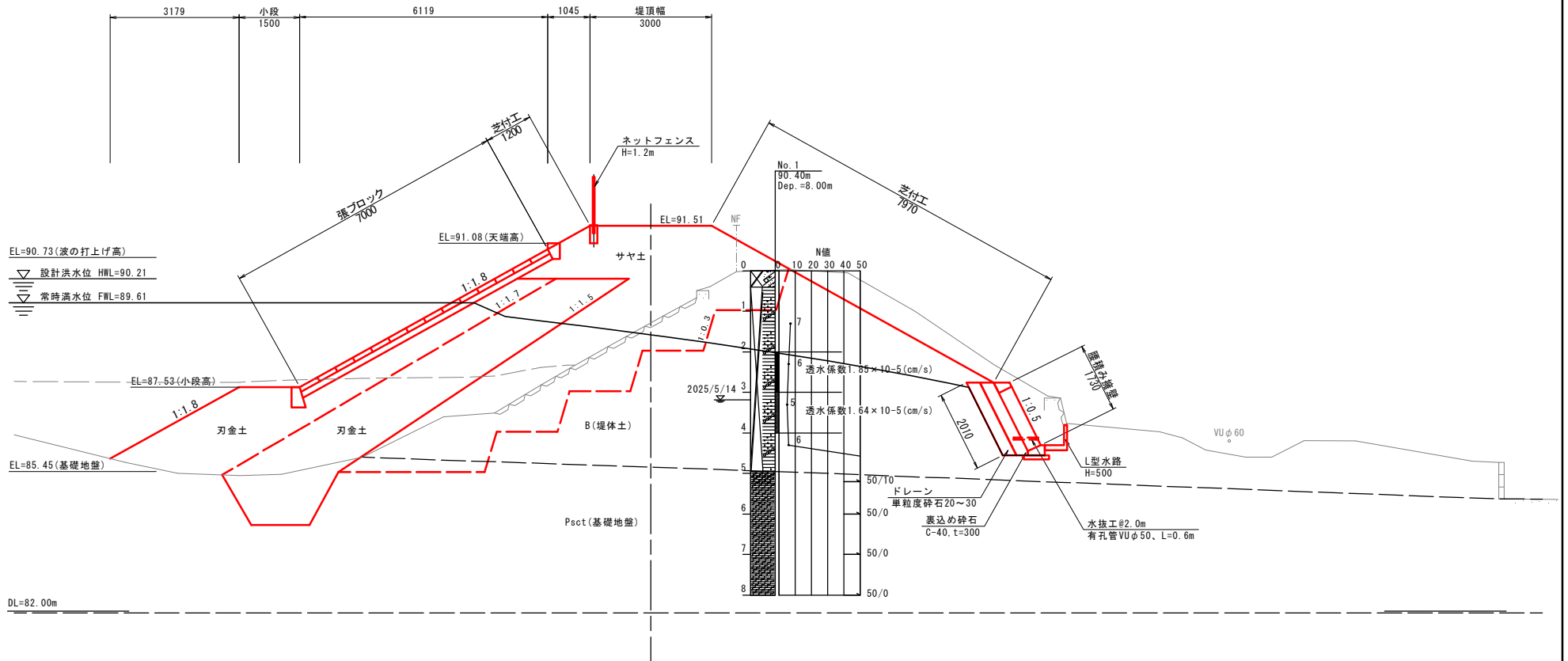


地区名

三ツ川池

計 画 断 面 図

堤体工標準断面図



凡例

地質年代	地層名	土質名	記号	区分
現世	盛土層	砂質土	B	堤体土
中生代	白亜紀	泥質片岩	Psct	基礎地盤

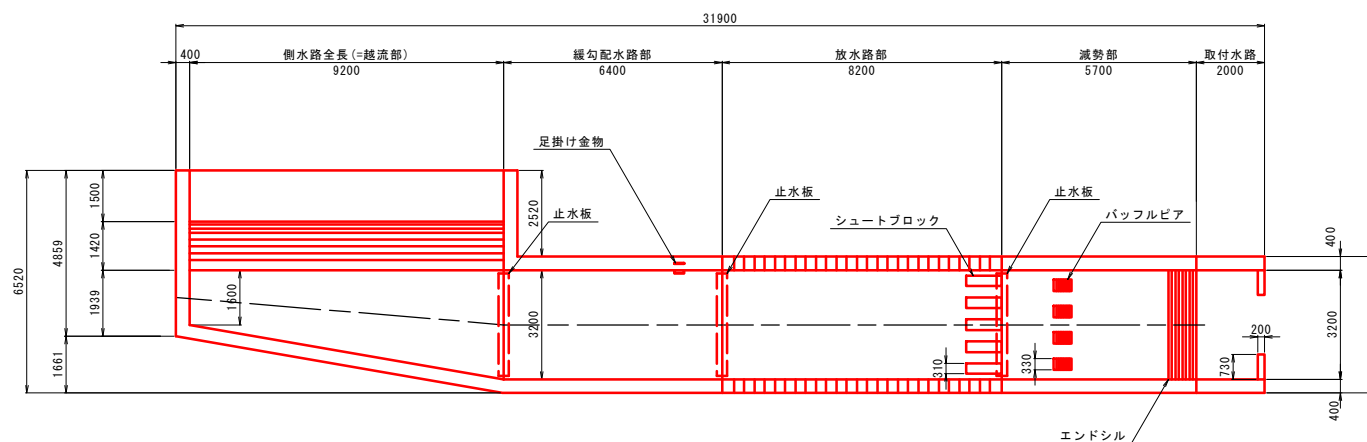
地区名

三ツ川池

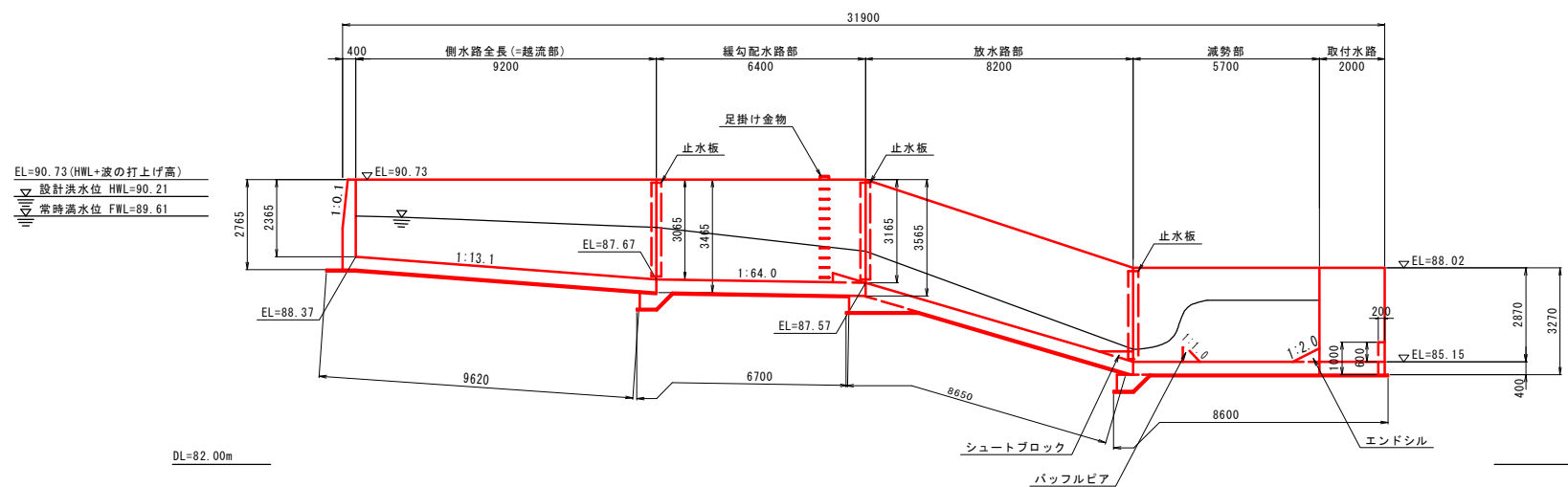
主 要 構 造 図 (1)

洪水吐工構造図

平面図



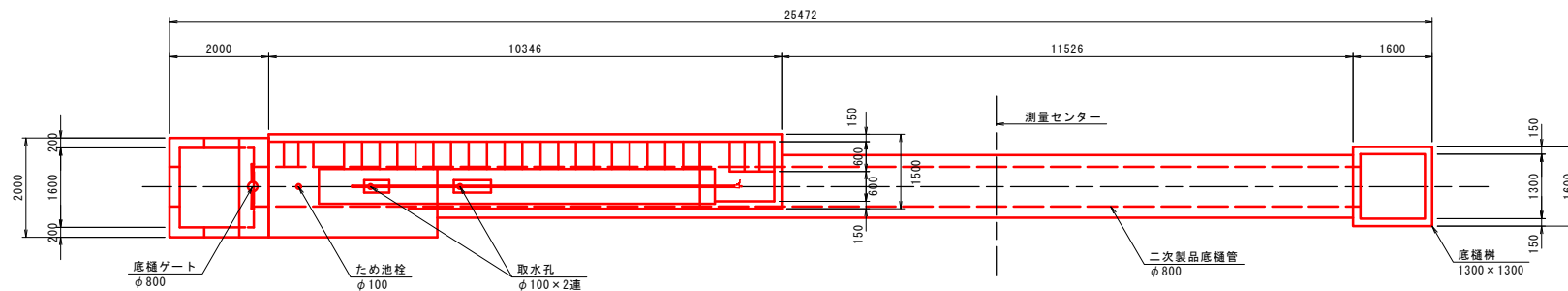
縦断面図



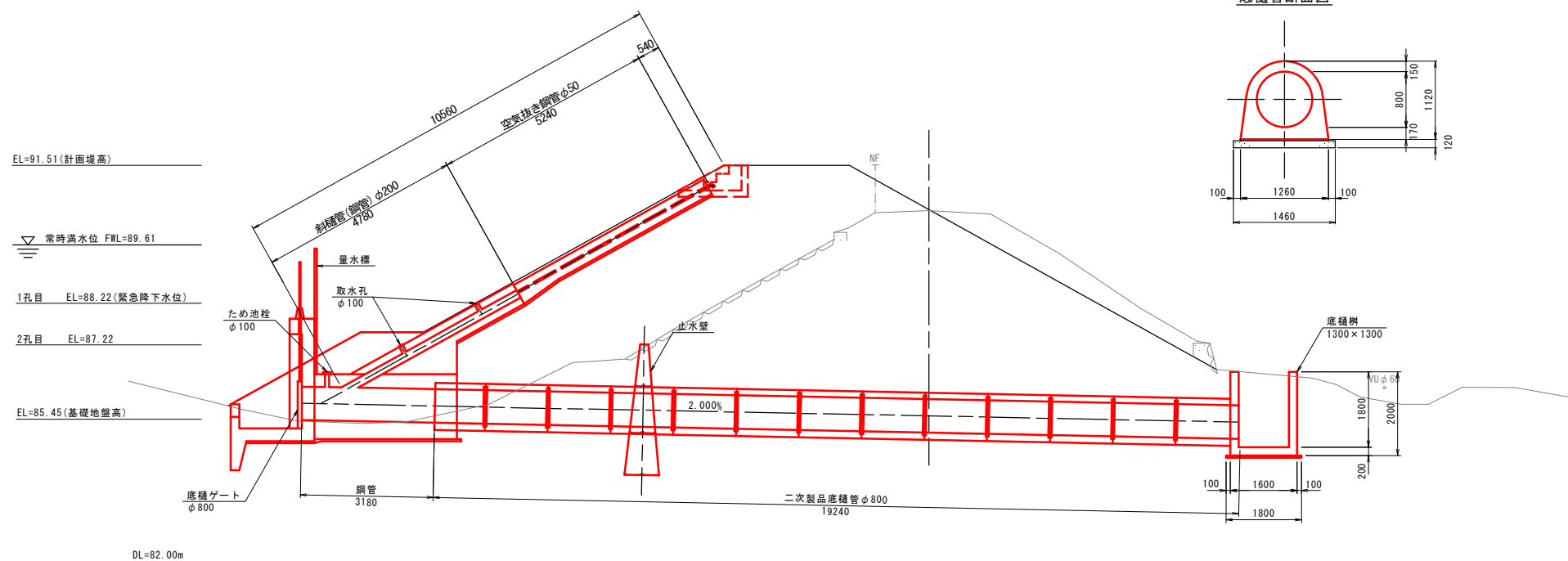
主 要 構 造 図 (2)

取水施設構造図

平面图



断面図



底樁管断面図

